

コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ  
～2020年5月10日(日) 18時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

5月8日(金)～10日(日)

- 10日(日) 15時現在、州内感染者数は前日比1033人増(+2%)の4万5444人、うちサンパウロ市が2万6787人、オザスコ市が1216人、サン・ベルナルド・ド・カンポ市が1080人、グアルーリョス市が1063人と続く。州内死者数は同101人増(+3%)の3709人で、うちサンパウロ市が2223人。全体の致死率は8.2%、60歳以上の死者の割合は73.1%。感染が確認されているのは州内645市のうち412市(前日409市)、死者は177市(同176市)。入院感染患者数は約9800人(同9500人)。州内公立病院のICUの占有率は67.9%(同68.4%)、サンパウロ大都市圏内は同83.3%(同87.2%)。
- 9日(土)の州の社会的隔離実施率は50%(前日46%)、サンパウロ市の実施率も50%(前日46%)。同日の実施率トップはサン・セバスチャン市の66%。なお、ゲルマン州保健局長は8日(金)、同実施率を55%～60%維持しなければ医療崩壊が起きる可能性も有り得ると指摘。
- 8日(金)、サンパウロ州政府は州内でコロナウイルスの感染が急激に拡大しているとして、5月31日(日)までクアレンテーナ(外出自粛措置)を延長すると発表(9日(土)付官報に告示)。同州政府によると、州内陸部の感染者数は過去30日間で3300%、沿岸部では770%増加。規制緩和にあたっては、①14日間継続して感染者数が減少し、②ICU病床の占有率が60%以下となること等が目安。また社会的隔離実施率が55%を下回る状況が続けば、同措置の期間延長の可能性も高まるとしている。
- 8日(金)、メイレス州財務局長は「社会的隔離は経済を悪化させるという話があるが、それは誤り。社会的隔離等の厳しい措置をとり、感染をコントロールできればパンデミックに打ち勝つことができ、経済は回復する。社会的隔離は現在の危機から脱するための最善の戦略である」と説明。エレン州経済開発局長も「現在、サンパウロ州のコロナウイルスの感染は拡大しており、コントロール出来ていない。経済活動は感染のコントロール後に段階的に再開する。他国も同様の対応をとっている」等と発言。
- 8日(金)、サンパウロ州政府は、州内地方自治体との評議会(Conselho Municipalista)を創設したと発表。州内各行政地域の代表都市の市長(16市長)が参加し、週1回州政府と会合を持つ。同評議会を通じて州・自治体間の協力関係を強化し、協定の合意等においても迅速に対応する。
- 8日(金)、サンパウロ州政府は、パウリスタ州立大学(Unesp)リオ・クラーロ・キャンパスとアドルフ・オ・ルツ(IAL)リオ・クラーロ地域ラボセンター(CLR VII)の専門家等が同地域のコロナウイルス検査実施件数を倍増させるべく協力すると発表。
- 8日(金)、コーバス・サンパウロ市長は、7日(木)に発表した11日(月)からの同市内の交通規制(rodizio)に関し、市民の50%が車を利用しないで外出しないことを目的としており、公共交通機関の利用を意図したものではないと説明。他方、バスを1千台増便し、600台を待機させる予定とし、今後市内の社会的隔離実施率が60%台となれば、同交通規制を停止することも検討するとした。なお、同措置は救急、警察、消防、軍関係、医療関係、埋葬業、タクシー等の各種必要不可欠な業種の車両は対象外(アプリの配車サービスは対象)。違反者は4点の罰点、130.16レアルの罰金が課される。31日は例外的に全車両の通行が許可される。
- 8日(金)、アパレシード・サンパウロ市保健局長は、市内の私立病院との間で、ICUの空き病床の貸与を交渉していると説明。同局長によると、市内107の私立病院には約4千のICU病床があり、このうち20%の800床が市側に貸与可能。既に7つの私立病院より108床の貸与を取り付けており、5月末から6月初めにかけて更に500床程の貸与の合意が見込めるとしている。

## 2 マット・グロッソ州

5月7日(木)～10日(日)

- 10日(日) 18時現在、州内感染者数は前日比17人増の519人、うち州都クイアバ市が185人、ロンドノーポリス市が56人、ヴァルゼア・グランデ市が36人と続く。入院患者数は53人(うち28人がICU)。州内死者数は同日までに新たに15人目(89歳男性、ヴァレ・デ・サン・ドミンゴス市)、16人目(27歳男性、ケレンシア市、心臓疾患・肥満症を患っていた)、17人目(72歳男性、バーラ・ド・ガルス市、糖尿病・心臓疾患・肥満症・腎臓病を患っていた)及び18人目(82歳男性、ポンテ・ブランカ市、肺炎・高血圧症を患っていた)が確認された。統一医療保健システム(SUS)に参加する州内病院におけるコロナウイルス感染患者向けのICU病床の空きは85床(占有率18.3%)、一般病床は389床(同3.5%)。
- 8日(金)、同州政府は5日告示の州政令を踏まえ、州行政機関の窓口対応時間を11日(月)から従来の8時～17時に戻すと発表。なお、職員との対面対応を希望する人はマスクの着用が義務となる。
- 7日(木)、同州保健局は6日(水)夜に民間企業(Copagaz社・TV Centro América)より、サージカルマスク4万5000枚、N95マスク1万3500枚の寄付を受けたと発表。州内医療従事者に配布して使用する。
- 7日(木)、同州教育局は、インターネット環境を持たず、オンライン学習にアクセスできない州立学校の生徒を対象に、補助教材を5万冊以上配布したと発表。またクイアバ市教育局は同日、18日(月)から段階的に教室での授業を再開予定の市立学校(164校)の教員等を対象に衛生管理講習を実施すると発表。
- 7日(木)、クイアバ市は連邦政府による600レアルの緊急援助金支払いに関し、多くの市民が連邦貯蓄銀行の前に列を成しているとして、同銀行の前に順番待ちのためのテントや椅子を設置したと発表。

## 3 マット・グロッソ・ド・スル州

5月6日(水)～10日(日)

- 10日(日) 午前10時現在、州内感染者数は前日比16人増の362人、うち州都カンポ・グランデ市が153人、トレス・ラゴアス市が68人、ギア・ロペス・ダ・ラグナ市が26人、ドウラードス市が16人と続く。入院患者数は22人(うち7人がICU)。州内死者数は8日(金)に新たに11人目(95歳男性、カンポ・グランデ市)が確認された。同市での死者発生は4人目。
- 7日(木)、レゼンデ同州保健局長はこれまで講じてきた感染拡大防止策により、州内の感染者数は他州と比べて最も少ないとしつつも、足元では州内の小規模な自治体で感染者の増加が見られているとして、「我々の唯一のワクチンは社会的隔離を維持すること。自宅のベッドはICUのベッドより快適である」等と述べ、改めて州民に警戒を呼び掛け。
- 7日(木)、同州政府はSuzano社より4万3200リットルの70%アルコールの寄付を受けたと発表。州内トレス・ラゴア市、アグア・クララ市、リバス・ド・リオ・パルド市、ブラジランジア市、サンタ・リタ・ド・パルド市、アパレシーダ・ド・トレド市に配布する。
- 7日(木)、同州政府は本来7月の州内公立学校の冬休みを5月4日(月)～18日(月)に前倒していることに関し、教員や子供達にとってはその間、Googleが協力している同州政府による学習プラットフォームの専用アプリの使い方に慣れたりする上で、良い時間になると説明。
- 6日(水)、同州政府はマット・グロッソ・ド・スル地域病院(HRMS)の病床占有率が7割を超えた場合、カンポ・グランデ市内に設置したコロナウイルス感染患者向けの仮設病院(140床)を稼働予定と発表。
- 6日(水)、同州政府は3月20日(金)から中止していた州交通局(Detran-MS)による運転免許実地試験の予約を4日(月)より再開したと発表。試験時は受験生、試験官ともにマスクを着用し、アルコール・ジェルを車内に設置する必要がある。
- 6日(水)、カンポ・グランデ市はコロナウイルス感染疑い者のトリアージをオンラインで行うシステムを立ち上げたと発表。

(了)